

今井惣左衛門家文書目録

凡 例

- 一、本目録は、1997年10月に古書店より購入した長浜市高月町唐川の今井惣左衛門家文書289点の目録である。
- 一、目録の項目は、年月日・文書名・備考・頁数・請求番号である。
- 一、年月日は、史料の作成年月日をとった。作成年月日が明記されていない場合は、本文等から推測した年代を（ ）で、全く未詳の場合は「――」と記した。
- 一、文書名は、原題をとり、適宜（ ）で内容を補足した。原題のないものについては、〔 〕で文書名を付した。
- 一、備考では、差出宛名を「差出→宛名」と表記したほか、本紙・付属物等に関する特記事項を記した。絵図については、法量をタテ×ヨコで表記し、単位 cm は省略した。
- 一、頁数は、一紙を「通」、一穴綴を「綴」、二穴以上の綴を「冊」（但し、複数の文書を合綴しているものは「綴」）、絵図を「点」、包紙・断簡等を「枚」とした。
- 一、判読不明な文字は□で示し、破損、虫損、切損により文字数が不明の箇所は〔 〕で表した。
- 一、旧字体・異体字・俗字は常用漢字に改めた。
- 一、紙幅の都合上、住所に「近江国」「伊香郡」等とあった場合、目録上での重複を避けて省略した。また、「御」や「様」等の敬称も、内容に支障がない限り省略した。
- 一、目録順については、分類項目毎に編年して配列した。配列にあたっては、一括関係を崩さないことを原則としたため、編年順よりも一括関係を優先させた箇所もある。一括の中で編年した上で、その最も古い文書の年月日で全体の配列の中に組み込んだ。
- 一、一括関係については、文書毎の内容を考慮して、目録上は一括関係を崩さざるを得なかったものもある。ただし、実際の文書自体は保管にあたって一括の状態を保っている。目録上、一括を崩したのは以下の群である。
紐一括91～96、紐一括100～118、紐一括121～161、紐一括162～191、紐一括195～224、紐一括226～288
- 一、分類項目は、「経営」「書状」「租税・上納」「金融・貸借」「家」「寄付」「受取・勘定」「その他」の8項目である。
- 一、分類項目について、以下に特記事項を示す。
 - ①経 営 唐川村での酒造業経営に関する史料を収めた。醸造税に関する史料は「租税・上納」に納めている。
 - ②その他 稲崎家（今井家との関係は未詳）の史料は、全てここに収めた。
- 一、本文書の整理・データの作成は、南田孝子が行い、目録の編集は青柳周一があたった。
※本目録は、平成27年度科学研究費助成事業（基盤B・一般）「中・近世「菅浦文書」の総合的調査・公開と共同研究一中・近世村落像の再検討―」（研究代表者・青柳周一、課題番号24320127）による成果の一部である。

経 営

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治8年2月14日	清酒増造御願書	唐川村酒造稼人今井惣吉→	1冊	16
明治8年4月27日	清酒造桶帳	唐川村今井惣左衛門→	1冊	20
明治8年8月	酒造御鑑札御願書	唐川村今井惣左衛門→	1冊	24
明治10年1月	全御印仕切目録(鮭代)	本郷弥七→今井宗左衛門	1通	183
明治10年5月15日	生酒造高取調帳 上	唐川村酒造人今井惣左衛門→	1冊	5
明治10年	清酒造高取調帳	唐川村酒造人今井惣左衛門→	1冊	1
明治11年2月22日	新酒醸造御願書	唐川村醸造人今井惣左衛門→	1冊	23
(明治11年)4月5日	〔達書綴〕(布達書の通り酒類見込高届書提出)	正副戸長役場→今井惣左衛門他2名	1綴	25
明治11年4月10日	清酒造高取調帳	唐川村酒造人今井惣左衛門→	1冊	26
明治11年11月5日	新酒醸造御届書	唐川村醸造人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1冊	10
明治11年11月13日	清酒醸造方法	唐川村清酒醸造人今井惣左衛門→	1冊	27
明治11年11月24日	新酒醸造御届書	唐川村酒造人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1冊	9
明治11年12月23日	清酒増造御願書	唐川村醸造人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1冊	11
明治12年1月24日	清酒増石御願書	醸造人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1冊	14
明治12年2月	〔示談の上売渡桶ニ付届書〕	西野村酒造人売渡主野洲きね・唐川村酒造人買主今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1冊	3
明治12年4月15日	清酒悉皆絞り上候ニ付御検査御願	唐川村酒造人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1冊	17
明治12年4月17日	清酒悉皆絞り上候ニ付御検査御願	唐川村酒造人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1冊	18
明治12年8月	〔酒札〕(酒預り)	唐川酒屋宗左エ門→	1通	189
明治13年4月16日	清酒御願書	唐川村酒造人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1冊	8
明治13年11月22日	酒売渡し証	阿閉伝治郎代平居喜□□→唐川村酒屋惣左衛門	1通	52
明治13年11月30日	清酒醸造願書并ニ酛玄米石数 清酒清石数 醸造法方書		1冊	19
明治13年11月30日	清酒醸造御願書	唐川村酒造人今井惣左衛門→	1冊	22
明治13年12月	玄米通	今井惣左エ門→	1冊	32
明治14年1月	酒造桶小道具帳	唐川村今井惣左エ門→	1冊	33
明治14年4月16日	玄石御願書	清酒造醸人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1通	36
明治14年9月20日	酢買取証	長浜横町森田徳次郎→唐川村今井惣左衛門	1通	38
明治14年12月	酒造仕込帳	今井惣左衛門→、〔元米・掛米石高勘定書付〕を括付	1冊	30
明治14年	清酒皆造御検査御願書	唐川村酒造人今井惣左衛門→	1冊	13
明治15年8月25日	酢買取証	坂田郡長浜横町森田徳次郎→唐川村今井惣左衛門	1通	53

経 営

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治15年11月2日	〔酒造見込石高届書綴〕	唐川村今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定、明治16年のものあり	1 綴	2
明治15年12月	酒造仕込帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	31
明治16年1月1日	酒造仕込帳	酒造人今井惣左衛門→	1 冊	12
明治16年3月30日	酢小売休業御願書	唐川村休業人今井惣左衛門→伊香西浅井郡長小山政徳	1 冊	15
明治16年4月10日	酒類皆造御検査願書	唐川村酒造営業人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1 冊	4
明治16年11月2日	仕切書（売渡代金受取）	長浜三ツ矢町青木吉三郎→唐川村今井惣左衛門	1 通	54
明治17年3月1日	清酒蔵出帳	唐川村酒造人今井惣左衛門→	1 冊	21
明治17年5月5日	〔新桶請取覚〕	木ノ本村森太吉→今井宗左衛門、前欠か	1 通	37
明治17年5月6日	酒造桶破解御願書	唐川村酒造人今井惣左衛門→滋賀県令籠手田安定	1 通	35
明治18年12月	酒造米元帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	73
明治18年12月	仕込帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	74
明治19年2月	粕目方扣帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	78
明治19年12月7日	仕込帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	75
明治19年12月7日	酒造米元帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	76
明治19年12月7日	粕目方扣帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	83
明治20年11月15日	酒造米元帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	79
明治20年11月15日	粕目方扣帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	86
明治20年11月15日	仕込帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	87
明治21年4月30日	所得金高届	唐川村今井惣左衛門→伊香西浅井郡長山信順	1 冊	28
明治21年12月15日	酒造米元帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	80
明治21年12月23日	仕込帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	81
明治22年2月	粕目方扣帳	唐川村今井惣左衛門→	1 冊	84
明治23年2月27日	粕目方扣帳	字唐川今井惣左衛門→	1 冊	89
明治23年12月	仕込帳	大字唐川今井惣左衛門→	1 冊	88
明治23年12月	酒造米元帳	大字唐川今井惣左衛門→	1 冊	90
明治24年1月1日	粕目方帳	大字唐川今井惣左衛門→	1 冊	77
明治28年9月29日	証（清酒渡し）	東浅井郡朝日村大字今西上杉弥五郎他1名→大字唐川今井惣左衛門、折込一括55～57	1 通	55
明治28年9月29日	記（中極酒代渡し）	今西前村吉蔵外世話方→唐川村今井惣左衛門代御苗伝吉	1 通	56
明治28年9月29日	証（清酒代渡し）	今西和田滝蔵他2名→字唐川今井惣左衛門	1 通	57

経 営

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治38年	記（清酒預り）	今井惣左エ門→	1 通	234
明治38年	記（清酒預り）	今井惣左エ門→	1 通	249
明治□年12月1日	古器械□ツキ書（不用の封印受けニ付届）	唐川村醸造人今井惣左エ門→滋賀県令籠手田安定	1 通	50
10年4月18日	所書記（つるか元東浜町糸谷与兵衛）	蓬萊町㊦印→今井宗左衛門	1 通	248
子2月26日	証（元利金勘定）	（大阪近江屋）今井勢兵衛→今井宗左衛門	1 通	147
子12月19日	受取（広せ持ち分粕）	（山梨子村）新坂治□（横井□吉）→唐川村孫右衛門	1 通	255
子12月24日	記（米渡し願）	黒七→唐川村今井惣左衛門	1 通	241
子12月28日	舌代（林惣五郎より極上古酒送付依頼）	赤尾村林宗十郎→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	254
子12月29日	送記（白子）	山梨子山梨子孫右エ門→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	253
丑1月4日	送り証（上炭）	小原村富三郎→唐川村酒屋惣左衛門行	1 通	263
丑1月15日	請取（酒）	山梨子山梨子孫右エ門→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	261
丑1月29日	請取記（酒）	山梨子山梨子孫右エ門→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	256
丑2月27日	請取（酒）	山梨子山梨子孫右エ門→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	259
丑2月28日	口上（古樽遣わし願）	にし山太左衛門→唐酒惣	1 通	276
丑3月3日	送り状之事（条右衛門持六品）	はんノうら（内貴）源右衛門→唐川惣左衛門	1 通	258
未8月	〔酒代勘定記〕	塩津（中村）利三郎→今井惣右門	1 通	138
（1月6日）	覚（米請取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門、折込一括154～158	1 通	156
（1月6日）	覚（米受取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門	1 通	157
（1月20日）	覚（米受取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門	1 通	158
（12月18日）	証（米受取）	唐川村福田長太夫→惣左衛門	1 通	154
（12月22日）	覚（米受取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門	1 通	155
1月18日	記（米代内金受取）	字赤尾村三家丈吉→今井惣左エ門	1 通	125
1月23日	覚（ふせ源蔵出俵受取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門	1 通	235
3月4日	記（酒渡し願）	横山村 [] →唐川村酒屋惣左衛門	1 通	260
3月28日	〔口上覚〕（酒代精算分渡し願）	大音村招魂社（頼母子）講受且世話方→唐川村今井惣左衛門	1 通	233
6月20日	覚（白子代受取）	（敦賀）佐多孫左衛門→今井惣左衛門	1 通	198
7月10日	証（取替金等勘定）	大坂今井→今井	1 通	169
8月4日	覚（酒・酒かす受取支払済）	今市畑野喜代松→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	275
8月31日	証（手間賃）	長浜十一町石周→唐川村酒蘇	1 通	236
（9月21日）	〔若連中・田居村等へ出荷量勘定覚〕	折込一括278～279	1 通	278

経 営

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
――	おほへ（出荷量）		1 通	279
10月22日	覚（赤尾新蔵出俵受取）	長太夫→惣左衛門	1 通	242
10月27日	覚（北ふせ新蔵出俵受取）	長太夫→惣左衛門	1 通	243
10月28日	口演（上酒至急送付願）	西浅井郡八田部村清水与治郎→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	197
11月26日	証（千田文右衛門出俵受取）	長太夫→惣左衛門	1 通	246
12月22日	記（甚平出俵預り）	長太夫→惣左衛門	1 通	247
12月24日	〔酒桶渡し願口上覚〕	中郷角屋兵吉→唐川むら苗惣左衛門	1 通	262
12月26日	記（願置き餅米・白米この者に遣わし願）	飯の浦万ぞう→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	257
12月28日	記（上米売渡し）	義市→惣左衛門	1 通	34
12月29日	証（横山喜内等より俵数受取）	長太夫→惣左衛門	1 通	285
12月30日	覚（赤尾重右衛門出俵受取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門	1 通	230
12月30日	覚（横山喜内出俵受取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門	1 通	231
12月31日	覚（横山喜内出俵受取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門	1 通	237
12月31日	覚（イその小三郎出俵受取）	（唐川村福田）長太夫→惣左衛門	1 通	252
12月	覚（甚平出米受取）	唐川村福田長太夫→惣	1 通	251
――	粕目方帳		1 冊	6
――	〔造酒高及ビ清酒醸造方法届書雛形〕	→県令、罫紙柱書「滋賀県」、前欠か	1 綴	7
――	清酒御検査ニ付手続書		1 通	59
――	記（肥持ち等人足）	布施村林太右エ門→唐川村今井惣左エ門	1 綴	85
――	〔粕・樽代等勘定覚〕	→惣左衛門	1 通	133
――	覚（古酒代等勘定）	ものへ酒金→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	153
――	口上（酢・新酒遣し願）		1 通	238
――	〔口上覚〕（代金唐川まで送り願等）	孫作→唐川取立人彦右衛門	1 通	240

書 状

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治22年10月25日	〔書状〕（金員受取、残金至急弁金願）	井口村井口累胤→唐川村今井惣左エ門、封筒	1 通	114
明治25年7月13日	〔書状〕（長浜行き入費取替分勘定通知）	井上五参郎→（字唐川本町）今井倉次郎、封筒	1 通	106
明治25年10月24日	〔書状〕（金員貸与再度依頼）	雨春九郎→今井惣左衛門、封筒	1 通	103

書 状

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
11年1月21日	〔書状〕(酒送付依頼)	〆杓掛宮川孫作→唐川村酒屋惣左衛門、〔証(白子本数等書付)〕を巻込	1 通	104
12年1月3日	〔書状〕(分桶は荷約定に違約の件承引願)	酒総より→酒惣	1 通	218
14年12月30日	〔書状〕(過日の件金詰まりニ付断り、貴家美酒利子不足分差引この者へ勘定願)	千田美濃部儀平→唐川村今井宗左衛門、封筒	1 通	117
26年2月25日	〔書状〕(先達而依頼の不用金ニ付尋ね)	(字東阿閉) 阿閉芳太郎→唐川村今井惣左エ門、封筒	1 通	113
亥2月18日	〔書状〕(金子借用願)	酒寅→唐川酒や惣左衛門	1 通	180
1月2日	〔書状〕(年賀)	よし田礼蔵正広→今井庄次郎	1 通	121
1月2日	〔書状〕(年賀)	同(今井) 嘉市郎→両親	1 通	139
1月2日	〔書状〕(年賀)	嘉市郎→千田小太郎	1 通	168
1月10日	〔書状〕(年賀)	安田利左衛門→今井惣左衛門、折紙裏面に「二啓(鯉白子直段)」	1 通	128
1月13日	〔書状〕(注文の手拭送付、肥し物相場報知)	(〆大坂) 同(今井) 嘉一郎→今井惣左衛門、封筒	1 通	101
1月22日	〔書状〕(病氣全快ニ付観世音へ船絵馬献上の世話願、坂口村善五郎弟奉公先世話等)	同(今居) 清兵衛→今居惣左衛門・両親・家内衆中	1 通	150
2月4日	〔書状〕(年礼延引詫び)	(従大坂) 大津や清兵衛→唐川村今井宗左衛門	1 通	141
(2月6日)	〔書状〕(酒代延引願、酒送付依頼)	(杓掛村) 宮川七左衛門→唐川村今井惣左衛門、封筒、紙縫一括98~99	1 通	98
3月8日	〔口上覚〕(此書面別使にて届け)	常岡→から川酒や惣左衛門	1 通	99
2月11日	〔書状〕(孫右衛門へ伝言の礼、手船欲勢丸江戸着、灘酒場大いに酒造出来安心、手船金勢丸敦賀表へ廻す積もりにて荷出し都合お尋ね、男子義次郎誕生、灘酒店の名前は因近江屋勢次郎・支配人は岩助)	同勢兵衛→本家宗吉他2名	1 通	191
2月24日	〔書状〕(弥二右衛門并親家招待の日限と明三寺名代浄楽寺出席の承引願)	辻弥二右衛門代筆酒井勘右衛門→唐川村今井惣左衛門、包紙上書に「別紙一通千田村へ(中略)御届奉願上候」とあり、紙縫	1 通	135
2月25日	〔書状〕(松前行船商売にて春中はせわしく参上でき兼ねる旨、代呂物預置き延引願等)	今井清兵衛→今井宗左衛門、追啓を巻込	1 通	140
2月25日	〔書状〕(酒樽大渴きにて差戻し分入手願等)	宮川孫作→惣左衛門	1 通	222
3月5日	〔書状〕(親父病氣見舞い等)	清兵衛→今井宗左衛門・家内衆中	1 通	151
3月6日	〔書状〕(みつ上坂の由うれしく待居り等)	たね→今井惣左衛門	1 通	142
3月9日	〔書状〕(元服披露目の案内)	同嘉市郎→両親	1 通	166

書 状

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
3月18日	耕便書（師匠禪全和尚一周忌報事に光来願）	摺墨邑宝林寺住職杉山全良→唐川邑今井清右衛門・同惣左衛門他1名	1通	187
3月24日	〔書状〕（井ノ口杳庵より明日推参するよう申越）	千田小太郎→今井惣左衛門	1通	149
4月5日	〔書状〕（白米調べて送り願、上酒値段等）	万二郎→唐川村惣左エ門	1通	193
4月15日	〔書状〕（金子借用ニ付伝四郎頼み願）	酒寅→唐川惣左衛門	1通	123
4月17日	〔書状〕（白米入手、追加分送付願）	内貴源右衛門→唐川村酒屋惣左衛門	1通	213
4月19日	〔書状〕（大坂表戻った旨報告）	嘉市郎→両親・惣吉	1通	182
4月28日	〔書状〕（雨森氏代金間違いニ付）	（字東高田村）川田（吉英）→今井惣左衛門	1通	105
5月11日	〔書状〕（和尚留主中に廻章高月村大門寺へ送り願）	留主居→養浩庵世話方	1通	184
5月22日	〔書状〕（大津屋店方の儀新兵衛帰国の節詳しく聞くよう、金子借用願分は新兵衛にお渡し願、孫吉儀奉公口なく拙宅に置く、借宅新建住所等）	清兵衛→今井宗左衛門他2名	1通	185
5月28日	〔書状〕（白米出来次第引取り依頼）	ふせ水上定右衛門→唐川村今井惣左衛門	1通	207
6月4日	〔書状〕（金子入用申越ニ付下拙金子大不廻りにて断り）	（はんの浦）酒寅→（唐川村）今井惣左衛門、封筒	1通	116
6月14日	〔書状〕（遣い込みの件下店に遠慮、書面着き次第登り願）	仙吉・嘉市→今井惣左衛門	1通	124
6月15日	〔書状〕（宗吉登坂時心得違い、金札通用触書、松前表戦争官軍勝利等）	近江屋勢兵衛→今惣左衛門他2名	1通	163
6月19日	〔書状〕（酒造夏持ちニ付尋ね、井之口村小森京庵子息当地奉公等）	清兵衛→今井宗左衛門・兄上衆中	1通	162
6月27日	〔書状〕（下店繁盛、仲間加入ニ付雑用金掛り、親父七会志出費、借金はなく安心のほど）	同清兵衛→今井惣左衛門他2名	1通	119
7月10日	〔書状〕（金子額面分かりかね来訪願）	千田小六郎→今井惣左衛門	1通	120
7月12日	〔書状〕（新兵衛無心分渡し、家普請新店諸道具入用にて金策苦勞、敦賀大津屋方も身代不廻等）	清兵衛→今井宗左衛門他1名	1通	171
7月13日	〔書状〕（馳走の礼、暑さの砌ニ付吟味の上酒遣し願）	脇坂→唐川村今井惣左エ門、前欠	1通	126
7月19日	〔書状〕（大津屋店方佐次新兵衛下りニ付詳細聞取り願、申越しの金子の儀罷下り節相談等）	同（今井）清兵衛→今井宗左衛門他2名、前欠	1通	136
7月22日	〔書状〕（酒船等注文ニ付尋ね）	同（今井）嘉一郎→今井本家	1通	165
7月28日	〔書状〕（金子借用願）	はんのうら酒寅→唐川酒屋惣左衛門	1通	221

書 状

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
8月13日	〔書状〕(足場木拝借の礼)	大音九郎→唐川村今居惣左衛門	1 通	203
8月19日	〔書状〕(清酒勘定取調ニ付元帳取引高改め申送り渡し願)	(ニシノ) 野洲庄次郎→(唐川村) 今井惣左衛門、封筒	1 通	118
8月19日	〔書状〕(先日苦勞頂き礼)	→唐川村惣左衛門	1 通	160
8月27日	〔書状〕(井ノ口良五郎一件のこと雨森善太郎より承り大悦至極、見舞の品送付)	大清兵衛→今井宗左衛門他2名	1 通	211
9月10日	〔書状〕(母への病氣見舞ニ付礼等)	近江屋紋助→惣左衛門	1 通	148
9月10日	〔書状〕(返事願)	西野村杉本新之助→唐川村留惣左衛門	1 通	202
9月14日	〔書状〕(親父様死去ニ付悔やみ)	惣左衛門→西村、下書か	1 通	146
9月15日	〔書状〕(金借用願)	阪口村布施幸市郎→唐川村今井惣左衛門	1 通	195
9月16日	〔書状〕(兄貴死去ニ付悔やみ并ニ香料送付等)	(従大坂) 同 (今井) 勢兵衛→今井宗吉他2名・家中衆中	1 通	143
9月16日	〔書状〕(親父様死去ニ付悔やみ)	辻弥兵衛健倍→今井宗左衛門	1 通	186
(9月18日)	〔書状〕(返金苦面ニ付書付遣し願)	(従西野山田権藏→唐川村今井惣左衛門)、封筒	1 通	115
9月晦日	〔書状〕(在所へ手紙届け承引願)	ツルカより(㊿大善) 大津屋□藏→大津屋店清藏	1 通	216
9月	〔書状〕(祈祷祓いの祝儀として来暦進上)	来田監物太夫→今井惣左衛門、包紙	1 通	220
10月4日	〔通知〕(欠席理由の届書提出)	七郷尋常小学校長福田徳太郎→今井惣左衛門、封筒	1 通	102
10月27日	〔書状〕(残金延引願)	孫作→惣左衛門	1 通	205
10月28日	〔書状〕(腫物でき追々本服心配無用、養生のため山芋送付願、文吉太物代のこと迷惑等)	大津屋清兵衛→今井宗左衛門・両親・家中	1 通	137
10月28日	〔書状〕(彦右衛門まで送金の知らせ)	孫作→今井惣左衛門	1 通	204
11月19日	〔書状〕(腫れ物でき困り両親には軽いと伝言願、観音等へ心願かけ大体本服ニ付当所観世音へ献灯依頼等)	大清兵衛→今井宗左衛門・家内衆中、前欠	1 通	172
12月13日	〔書状〕(嫁取りニ付周介松の内中に登り願等)	→今井宗左衛門他2名	1 通	145
12月17日	〔書状〕(病氣ニ付両親に心配かけ気の毒、観音献灯の世話ニ付礼等)	大津屋清兵衛→今井宗左衛門・両親・他2名	1 通	164
12月18日	〔書状〕(長期逗留の礼、手船飲勢丸こんぶ積入場所浦賀に到着、新在家小西酒店引受造込ニ付承引願)	近江屋勢兵衛→酒屋宗左衛門	1 通	188
12月22日	〔書状〕(桶樽引き取りニ付金子借用願等)	(野洲) 西野村酒十→から川村酒屋惣左衛門	1 通	215
12月23日	〔書状〕(方船飲勢丸利兵衛江戸着の旨等寒中見舞)	近江屋紋助→今井惣左衛門	1 通	134
12月24日	〔書状〕(今日金子持参の旨)	万二郎→唐川惣左衛門、切損により2分割	1 通	277

書 状

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
12月31日	〔書状〕（黒田村清平督促の儀依頼ニ付）	坂口村はし小右衛門→唐川むら酒屋惣左衛門	1 通	170
6 日	〔書状断簡〕	八田部清水与治郎→唐川酒屋惣左衛門	1 通	239
8 日	口上（土産返却）	富田八右衛門→今井清兵衛	1 通	196
――	〔書簡下書〕		1 通	68
――	〔書状〕（病氣見舞）	後欠、下書か	1 通	122
――	〔書状〕（父親病氣の様子知らせ願）	→今井宗左衛門・家内衆中	1 通	130
――	〔書状〕（残暑見舞等）	下書か	1 通	161
――	〔書状〕（船道具店開店の祝、新兵衛帰国に立寄り咄聞き安心、守り袋の忘れ物飯之浦から取寄せ、徳右衛門隠居死去等）	後欠、185の後日便か	1 通	190
――	〔書状〕（病氣本復願い観音へ灯籠献上、当秋雨天続き不作、新酒上出来等）	下書きか	1 通	192
――	〔書状〕（唐川村惣右衛門分瓦送り延引、木戸浜まで引取り願）	八幡多賀瓦屋伝兵衛→片山問屋源五郎	1 通	214
――	〔書簡下書・断簡等一括〕		20枚	288

租税・上納

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治6年12月	納証（清酒醸造税）	唐川村清酒稼人今井惣吉→滋賀県令松田道之	1 通	43
明治7年4月17日	納証（清酒醸造税半納分）	唐川村酒造稼人今井惣吉→滋賀県令松田道之	1 通	39
明治7年8月12日	証（旧彦根藩より貸下金年賦上納金請取）	滋賀県令松田道之→唐川村惣左衛門	1 通	40
明治7年11月27日	〔旧藩より年賦拝借金上納通知写〕	滋賀県出納課→唐川村惣左衛門	1 通	44
明治9年4月25日	納証（清酒醸造税）	唐川村清酒稼人今井惣左衛門→滋賀県権令籠手田安定	1 通	42
明治9年4月27日	証（清酒醸造税請取）	滋賀県権令籠手田安定代理滋賀県権参事酒井明→唐川村今井惣左衛門	1 通	45
明治9年10月2日	証（清酒醸造税請取）	滋賀県権令籠手田安定→唐川村今居惣左衛門	1 通	46
明治9年10月19日	証（酒造営業税請取）	滋賀県権令籠手田安定代理滋賀県権参事酒井明→唐川村今居惣左衛門	1 通	47
明治10年10月22日	証（酒造営業税請取）	滋賀県権令籠手田安定代理滋賀県大書記官酒井明→唐川村今居惣左衛門	1 通	41
明治10年	〔明治十年分清酒醸造税納分書類綴〕	第7区区长→唐川村今井惣左衛門	1 綴	48

租税・上納

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治11年 3月13日	〔酒類真価表二月までの分取調提出通知〕	滋賀県第三課→第7区区長平川孫平	1 通	49
明治11年 4月26日	証（清酒醸造税前半季分請取）	第7区区長→唐川村今井惣左衛門、挟込一括270～274	1 通	272
10年 4月24日	証（清酒醸造税上納金三名分預り）	第7区区長→唐川村今井惣左衛門	1 通	270
10年 9月24日	証（金銭受取）	第7区区長→唐川村今井惣左衛門	1 通	271
11年 6月16日	〔徴収追納分預り証〕	第7区区長→今井惣左衛門	1 通	273
12年 4月26日	証（清酒醸造税前半季分預り）	第7区区長→今井惣左衛門	1 通	274
（明治）12年 2月 5日	証（明治十一年税金分預り）	第7区区長→今井惣左衛門	1 通	286
明治12年 9月24日	預り手形（清酒醸造税）	戸長代今井清三郎→今井惣左衛門	1 通	51
明治22年 4月16日	〔通達〕（国税徴収法実施による酒類醸造税納付二付）	伊香西浅井郡役所→醸造営業人七郷村字唐川村今井惣左衛門、封筒	1 通	100
明治25年 2月 2□日	〔地租領収証〕	七郷村収入役雨森九郎→今井惣左衛門	1 通	232
9年 4月28日	〔預り金勘定覚〕	第7区々長平川孫平→唐川村今井惣左衛門	1 通	58
12年10月25日	〔旧藩貸下げ金当年賦割上納分勘定覚〕	布施村平川孫平→布施孫一郎	1 通	224

金融・貸借

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治11年10月 1日	〔講仕法帳〕	布施村講元八幡社祠掌平川主機→	1 冊	82
明治12年12月15日	〔返済金勘定覚〕	布施孫一郎→今井惣左衛門	1 通	206
明治14年 6月26日	金借用証	唐川村借主今井惣左衛門・引請人〔 〕→伊香西浅井相救社取締役富田八郎他1名	1 冊	29
明治14年 9月13日	証（金子勘定猶予願）	西浅井郡杵掛村宮川七左衛門→唐川村酒屋惣左衛門	1 通	209
明治14年12月23日	覚（貸金皆済勘定）	千田美濃部儀平→唐川村今井宗左衛門	1 通	217
（明治33年10月16日）	通（智源寺祠堂講）	東浅井郡朝日村大字今西智源寺祠堂講元柏原祐賢他14名→唐川今井惣左衛門	1 冊	97
（12年12月15日）	〔孫左衛門貸金等勘定覚〕	紙綴一括173～179	1 通	179
卯12月16日	〔惣左衛門元利金勘定覚〕	閉積立講世話方→、〔貸金等書付〕を巻込	1 通	174
――	〔辰六月迄惣左衛門分元利金算用覚〕		1 通	173
――	〔治右衛門口金高等書付〕	折込一括175～176	1 通	175
――	〔金高等書付〕		1 通	176
――	〔惣左衛門利足等勘定覚〕	「通（講金）」（亥2月、〔 〕世話方→松川孫七郎）を転用	1 通	177
――	〔かま代・宿賃等勘定覚〕		1 通	178

金融・貸借

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
19年3月28日	受取証（懸金）	大音村招魂社講元→唐川村今井惣左衛門	1 通	250
辰6月16日	〔利子勘定覚〕	紺六→酒惣	1 通	201
亥7月15日	証（利子代勘定）	栄民講→今井惣左衛門	1 通	159
7月8日	〔廻章〕（仲間積金割当分渡し）	山路清平→唐川今居惣吉他7名	1 通	144

家

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治癸巳(26)年	〔今井氏家相図〕	58.4×63.4、大学理化学士太真瓊二等学師高橋速勢→	1 点	72
明治23年4月2日	〔尋常小学科第壹年程卒業証書〕	伊香郡第五学区森内小学校→今井みね	1 通	93
明治30年1月1日	〔賞状〕（欠席日数僅少）	七郷尋常小学校訓導兼校長奥田喜三郎→七郷尋常小学校第参学年今井ふぢ江	1 通	91
明治30年3月29日	修業証書（尋常小学校第参学年課程）	七郷村立七郷尋常小学校→今井ふぢ江	1 通	96
明治34年9月10日	記（赤十字社拾貳回分終身社員年金領収）	分旦委員雨森九郎→今井惣左衛門	1 通	132

寄 付

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治21年8月23日	証（地藏堂厨子修繕寄附金受納）	木ノ本浄信寺幹事→唐川村今井惣左衛門	1 通	129
明治25年3月23日	〔褒状〕（再建志受納）	大谷派本山再建志納場→曹洞宗唐川今井惣左衛門	1 通	167
明治25年8月1日	〔八幡神社華表再建篤志金受領書〕	大字布施村社氏子総代→大字唐川今井惣左衛門	1 通	92
明治27年10月17日	証（寄附金領収）	木之本浄信寺中銅像建設事務所→大字唐川今井惣左衛門	1 通	95
明治27年12月13日	〔褒状〕（七郷尋常小学校増築費寄附）	滋賀県知事従四位勲四等大越亨→七郷村今井惣左衛門	1 通	94

受取・勘定

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
明治24年	〔魚等諸入用綴〕	宮沢久治良→今井惣左衛門、明治22年のものあり	1 綴	228
亥(20年)1月	〔手問賃等諸入用勘定綴〕	高田村惣七→唐川宗左衛門	1 綴	194
卯8月	記（田地代請取）	（唐川村）津田六兵衛→今井惣左衛門	1 通	269
午6月14日	記（蚊帳代）	（阿閉村）阿閉十郎→今井惣左衛門	1 通	212
午8月	〔煙草代勘定覚〕	木本若小→唐川惣左衛門	1 通	199
午8月	〔石油・油代勘定覚〕	木本宿油定→唐川村惣左衛門	1 通	210

受取・勘定

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
申8月	覚（引残金）	八幡多賀瓦屋伝兵衛→唐川村今居惣左衛門	1通	131
戌1月	〔諸入用勘定記等綴〕	井上久三郎→今井惣左衛門、19年のものあり、紐	1綴	225
7月7日	記（こんにゃく代等勘定）	とふや→上	1通	266
8月24日	記（呉服代勘定）	西京早野藤七→今井氏	1通	223
11月6日	覚（代金）	木藤→	1通	208
11月11日	覚（ぱっち代等勘定）	大津上東八町ぜにや卯兵衛→上	1通	200
11月11日	覚（金高）	（大津上百石町）木藤→	1通	283
11月12日	覚（宿泊代等勘定）	（大津倉橋町）近江屋吉兵衛→上	1通	152
12月5日	覚（前かけ代等勘定）	木半→上	1通	280
---	証（御鏡・まき餅等分量書上）		1通	127
---	〔九郎右衛門預り金等勘定覚〕		1通	181
---	〔とまり賃勘定覚〕	京都御幸町通姉小路下ル田中寿恵→だんな	1通	219

その他

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
天保7年1月2日	〔和歌断簡〕		1枚	69
明治30年11月	誌（伊勢朝熊社本部印鑑改正二付印鑑）	伊勢朝熊社本部長岡野省吾→	1通	265
4月11日	〔包紙〕	同（今井）清兵衛→今井宗左衛門	1枚	267
9月14日	〔包紙〕	（塩津）杳掛村（宮川）孫作→唐川村今井惣左衛門トクツキ人孫右衛門、上書に「金五拾円也」とあり	1枚	70
---	吉書（手本）	惣市→、後欠か	1通	71
---	〔名刺〕	大坂市西区新町南通五丁目船道具帆木綿商神戸庄兵衛→本今井	1枚	107
---	〔名刺〕	彦根町字上魚屋町吉田弥太郎→	1枚	108
---	〔名刺〕	鎌倉賢秀→、書込「滋賀県為松殿」	1枚	109
---	〔名刺〕	勅願所京都西山大原院勝持寺勸進係代理山崎三吉→	1枚	110
---	〔名刺〕	大字唐川今井惣左衛門→	2枚	111
---	〔封筒〕	七郷村役場→今井惣左衛門、上書に「所得税等級証入」とあり	1枚	112
---	〔品物名等書付〕		1通	244
---	〔印鑑票〕	唐川村庄屋伊兵衛・横目次郎右衛門→	3枚	245
---	〔書状〕（ウタエノ本不用分譲り願）	後欠	1通	268

その他

年月日	文書名	備考	員数	請求番号
---	〔名前書付〕		1 通	282
---	〔日清開戦ニ付書付〕		1 通	287
---	〔浄瑠璃本綴外れ一括〕	紐上書「大音清兵衛」とあり	101枚	289
(明治28年11月)	〔手習書取一括〕	「稲崎」とあり	3 枚	66
明治34年11月10日	入社申込書 (日本赤十字社)	福井県今立郡片上村四方谷稲崎秀太郎→日本赤十字社	1 通	65
大正10年	記 (引越見舞受取)	「御綿葉料 稲崎長九郎」とあり、包紙から転用か	1 通	60
4 月	〔書状〕 (正覚寺にて慧登大師遠忌挙行の案内)	稲寿→楊原	1 通	227
10月21日	〔通達〕 (大日本赤十字社入社ニ付出張依頼)	村長松原□□郎→四方谷稲崎長九郎	1 通	61
---	記 (襦袢・のし綿等書上)		1 通	62
---	記 (木綿縞等諸入用)	背面に「記 (人名書上)」あり	1 通	63
---	家屋売渡証	下書か	1 通	64
---	〔商標〕 (劣加藤規矩郎商店)		1 枚	67
---	〔書状〕 (蚕種ニ付)	背面に「名前等書付」あり	1 通	226
---	〔書状〕 (秋より指痛本年は重複の痛みあり不都合の始末ニ付息女死去の悔やみ不沙汰海容願)	稲寿→中橋	1 通	229
---	〔書状〕 (淑弟子婿入りの由祝詞)	中橋金義→稲崎長九郎	1 通	264
---	〔口上〕 (七月廿日の事お話し上げたく)	四方谷稲崎→横越岡田まさり	1 通	281
---	記 (稲崎長九郎他六名生年月日)		1 通	284

解 題

本目録は、旧伊香郡高月町唐川（現長浜市高月町唐川）の今井惣左衛門家文書289点の目録である。

今井惣左衛門家は、伊香郡唐川村で酒造業を営んでいた家である。その経営規模は、たとえば明治十四年（1881）「清酒皆造御検査御願書」（請求番号13）によれば、総仕込白米104石、使用玄米126石、汲水88石9斗8升、検査済み清酒83石5斗1升4合、未検査の清酒143石5升6合となっている。今井家文書からは、同家との取引関係にあった人びとが居住する場所として、唐川村と同じく長浜市高月町域の西野村（請求番号118）、横山村（同260）ほか、杳掛村（同98、104等。同市西浅井町）、塩津（同138）、千田村（同117。同市木之本町）、山梨子村（同256等）、今市村（同275。同市余呉町）といった地名を見出せる。同家のおおまかな商圈の広がりを知ることができよう。

今井家文書中には書状が多く含まれているのが特徴で、とくに大坂の今井（大津屋）清兵衛とのやり取りに関するものが目を引く。清兵衛は今井惣左衛門の息子であり、その経営内容については「私店、松前行船商売に御座候」と述べている（同140）。立売堀高橋筋西口の「近江屋清兵衛」方へ新たに借宅することを伝えた書状では、この場所は「是迄之大津屋之店より式丁計り南」の地点であるとする（同185）。ところで、同家文書中には「近江屋勢兵衛（清兵衛か）」名義の書状も見られ、それら書状によれば、この近江屋は「歓勢丸」や「金勢丸」といった手船を有し、江戸や敦賀との間での商品運送に従事していた（同191）。また浦賀に向けて昆布を積み送るといった記述もあるように、大津屋と同様に北方交易に従事している（同188）。このため、明治二年（1869）に旧幕府軍が蝦夷地で官軍に敗れた情報についても入手して、唐川村の今井家へ知らせている（同163）。さらに、灘に「近江屋勢次郎」という酒店も出店し、岩介という支配人に任せている（同191）。ただし、大津屋と近江屋との関係は現時点で具体的には不明である。

その他、今後の調査と解明が待たれる部分が多いものの、近江国湖北地方での酒造業者の経営状況や、大坂の北方交易商人との諸関係などを物語る史料群として、興味深い内容となっている。

また、本史料群中には「稲崎家」という、今井家とは別の家に関する文書が数点含まれている。稲崎家と今井家の関係は未詳であり、文書がいつ混入したのかも不明である。

（青柳周一）